

決定前に市へ情報提供なかった 誘致企業スタンレーの吸収合併・解散

（株）スタンレー鶴岡製作所（鶴岡市渡前）は、連結親会社のスタンレー電気（株）（東京都目黒区）に吸収合併が決まり、2025年4月1日解散、約100人の解雇の情報波紋を広げています。

約300人の社員のうち、約100人という大量の早期希望退職が求められ、ほとんどが50代以上の社員で、リクルートが転職を勧めています。

鶴岡市でも、地元企業の募集情報の提供や、市職員の会計年度職員の採用などを検討しています。

これまでの経過は、スタンレー電気（株）の2月29日の取締役会議で、役員異動が決定さ

決算末日	売上高	純利益	利益剰余金	総資産
2024/3/31	169億9,900万円	3億4,000万円	66億7,700万円	134億4,100万円
2023/3/31	166億9,300万円	△2億5,200万円	63億3,700万円	147億円
2022/3/31	155億2,400万円	△2億8,500万円	60億8,400万円	155億5,700万円
2021/3/31	151億4,800万円	4億1,800万円	63億7,000万円	174億9,800万円
2020/3/31	208億2,400万円	16億7,200万円	59億5,100万円	171億5,900万円
2019/3/31	206億2,000万円	17億6,900万円	51億6,300万円	126億5,500万円
2018/3/31	188億2,600万円	12億3,100万円	36億4,000万円	120億100万円

※官報決算データベースから

れ、三杉光昭氏が、本社の生産統括本部電子デバイス生産本部長（兼）（株）スタンレー鶴岡製作所社長に就任。前社長の前田喜行氏（旧朝日村）は鶴岡製作所取締役就任。

本社の9月26日の取締役会において、連結子会社である（株）スタンレー鶴岡製作所を25年4月1日に吸収合併することに決議。

合併の目的は、当社グループにおけるLED事業再編の一環で、生産革新活動「SNAP」（SNAP=Stanley New Approach for Higher Productivity）「製品を必要とときに必要な数だけ生産する体制」を一貫して取り組むことで、さらなるコスト競争力向上を図るとしています。

鶴岡製作所には、吸収合併される理由は見当たりません。（株）スタンレー鶴岡製作所は資本金21億円でスタンレー電気（株）が

100%出資の子会社。タイのバンコクに事業所・工場があります。2019年9月から約60億円を投資して新工場を建設し、21年4月完成、5月操業開始。

子会社では筆頭の売上高で169億9900万円です。

2020年度から2年間は、コロナ禍で売上高が減少しましたが、22年度以降は回復状況にあり、今年3月末の決算は純利益の黒字転換になりました（表）。

合併前の藤島町であれば、誘致企業の解散は大問題であり、決定前に情報提供や相談があったはず。

スタンレー鶴岡製作所は、旧藤島町の誘致企業第1号で、昭和46（1971）年4月操業開始（昭和44年2月、本来第1号の愛知県半田市の昭和織布（株）藤島工場は、進出断念）。

優秀な企業で絶対つぶれないと、町も就職紹介をしてきました。

吸収合併の情報を鶴岡市が知ったのは、9月のプレスリリースで、会社の説明が11月にあつたとのこと。

これも平成大合併の弊害の結果です。

ふるさと賛歌

鈴木重雄 八色木

れたと聞いている。

日向富さんは、八色木の日向宇兵衛家の人である。宇兵衛家は、八栄島村造成の立て役者であった。

八栄島村の初代村長は、明治22年（1889）～23年、鶴岡の土屋久礼氏（官選）であったが、宇兵衛家は明治23年8月～29年10月の5年間、村長を務められた名家である。富さんは長女で、鶴岡女学校（旧鶴岡北高）を卒業後、母がまもなく亡くなられ、主婦として一家を支えてきた。父も間もなく亡くなられ、後を継ぐ弟は幼少だったので、教員であった婿養子を迎えて、自分も教員として共働きをされた。

日向家は、村でも大農家で、若勢を雇い、農業を続けてきた。弟が成人した後継ぎになれば、子どもを連れて分家に出ると思つたが、そうしなかつた。八栄島小学校と八重里小学校の毎年持ち回りの「島・里運動会」があつたが、富さんは八栄里小学校の教師をしていて、小柄でテキパキとした先生であつたことを覚えている。

退職して、県立庄内農業高校に1年生が入る寄宿舎「明德寮」が昭和42年（1967）に出来て、寮母として勤務された。家族から初めて離れて寮生活をする生徒たち、親のように慕わ

松山町出身の鈴木正治先生が、昭和44年（1969）に八栄島小学校の校長に赴任され、校務の傍ら短歌を指導された。質実剛健な先生で、信厚も厚く、毎回来しみな短歌会であつた。

富さんは、鈴木正治先生の意志を継ぎ、住民の埋もれている短歌を掘り起こし、歌集『うぜんかづら』を平成5年（1993）10月1日に発刊された。投稿者34名で、発行は八栄島公民館。発刊にあたっては当時の八栄島公民館長鈴木重雄、発刊をお祝いしては当時の藤島町立図書館長の阿部公彦氏が寄せている。



八栄島小学校があつた時代、地区住民の文化水準が高かつたことが偲ばれる。

（1970年頃の日向富先生・明德寮にて）

令和6年度 市道除雪計画

排雪場所

排雪場所は、
・本所（赤川 三川橋上流右岸）
・藤島庁舎（藤島川藤浪橋上流左岸）
・羽黒庁舎（旧羽黒第一小学校用地（羽黒町手向地内））
・櫛引庁舎（赤川 櫛引橋下流左岸）です。

豪雪対策本部

豪雪対策本部の設置基準は、本所の観測地点（鶴岡公園の観測地点）が70cmを超え、道路事情が悪化し引き続き降雪が多量に見込まれる場合が基準です。

克雪計画

朝日庁舎では、大網の観測地点の積雪が150cmを超え、温海川観測地点では、温海川観測地点の積雪が150cmを超え、同様の場合を基準とします。

市は令和5年11月、「鶴岡市雪に強いまちづくり計画」を策定しました。

地域除雪パートナーズ支援事業や、高齢者・障害者及び母子世帯雪下ろし費用補助事業

（1回1万6500円）、市社会福祉協議会の除雪ボランティアなどに取り組みます。



令和6年度

市道等の除雪計画書

鶴岡市

鶴岡市は、「令和6年度 市道等の除雪計画書」を12月10日公表しました。

除雪計画路線は、市道延長1528.6kmのうち、道路除雪316.9路線1138.7km、歩道除雪150路線106.0kmです。昨年度対比では、市道延長0.6km増、道路5路線0.9km増、歩道0路線0.1km増です。

道路用除雪機械は1台減の274台（うち市有車が135台）で、歩道用除雪機械1台増の26台（うち市有車1台増の21台）です。

防雪柵の設置は、幹線道路などの97路線、延長23.41km（0.08km増）です。

道路消雪施設は、幹線道路39路線、延長15.52kmです。

凍結防止剤の散布は、幹線道路の登り坂や橋及び主要交差点等297箇所（1増）で、延長38.91km（0.10km増）に散布します。

公共施設は小・中学校等298箇所（2増）の駐車場等の除雪作業を実施します。

出動基準10cm以上

除雪機械の出動基準は、路面に10cm以上の降雪がある場合、または午前7時まで10cm以上の降雪が予想される場合に出动します。

降雪がない場合でも、道路の安全を確保するため、道路の状況に

東田川史跡物語

大沼作兵衛の取組（庄内町大野）①

青山 崇

袋駅のすぐ西側の地域（赤線わく内）で旧余目町（現庄内町）である。代々続く大沼作兵衛家が、これから述べる作兵衛（写真）は12代目で、明治元年生まれで1924（大正13）



（赤棗大野、東・西袋 駅・西・京田川）

大沼家は大野の在村地主・自作農であった。大野は、羽越本線西



年死亡である。遺稿『大野の農業乾田の起源』を残している。

大野では江戸期から変わらないと思われるが、明治10年に7割が乾田で、地元では「白乾（しらぼし7割）」と言っていた。

この周辺は長沼も含めて、大楯大堰（1622年完成）ができるまで用水に苦しんだ地域で、以後も苦労した。

大堰ができて集落西側に、深い田川第2



大型減税を急げ

今年の漢字となったのは「金」。この字だったが、これは「キン」と読むのか「カネ」と読むのかは人によって違うだろうが、俺は「ガネ」と読みたい。しかも「ウラガネ」と使いたいんだナ。

▲裏金がどうして生まれたのかの認識。自民党が議員個人の目標として定めた企業へのタカリの金額・この金額を超えて集めた金が裏金。これを表に出さずに使って議席を掴んできたというわけ。

都議にもあると言うが。▲だから、こんな金蔓（かねづる）は放したくない訳だ。若いからもっと正義感があつて物分かりがよさそうな（俺の感じ）彼も、団体献金が悪だとは思っていない、ナシテ言っているんだろ。

▲裏金の始まり指不も使われた道も金額も、

の河川京田川が流れ、大野の水が浸透してしていく。それで乾田が多かったと思われる。

乾田は固く三本鍬の耕起は重労働、耕土は浅く、しかも年々浅くなり収穫も当然少なくなる。なるほど悩んでいた時、明治26年、島野嘉作と出合い、遺稿『大野の農業乾田の起源』に馬耕に取組む様子を記録している。

なるべく原文のまま引用する。（つづく）

明らかにしないから、議席が減っていないながら反省も無く、もう開き直った態度。103万円突破を掲げた政党から助け船があるからの態度かネ。

▲しかし、103万円の突破は大型減税だ。俺も来年25年の税金・つまり2月に始まる申告の税金から変わるのかと期待していたんだが。党同士が話し合っ

て決めると言っているから、何年度から始まる事になるのやら書いて無い。前向きに協議中・で終わるのではな

いかの心配はないのか。▲課税額を小さくする為に、どここの控除額を増額するのか、新しい控除を作るのか見もの。何しろ、すでに軍拡増税の方向が確認されているのだから、その方向がストップされるのであればこりゃあ万々歳なんだが。物価高の苦しみ。両党よ、早く実施してよ。（石川）